

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

世界をリードするものづくり中枢都市 豊田市

国際競争力の強化

安全・安心なまちづくり

世界につながる自動車製造ネットワーク

広域的な人流・物流を支える道路ネットワーク

名古屋港

衣浦港

最重点要望路線

雇用を支える製造業ものづくり産業の集積地

空飛ぶクルマと歩行領域BEV多様なモビリティの開発

世界屈指のテストコースを併設するトヨタテクニカルセンター下山新たな研究開発施設

FIA世界ラリー選手権FORUM8 RALLY JAPAN 2023山間振興・交通安全・自動車産業振興



令和5年10月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、気候変動による豪雨等の自然災害の激甚化・頻発化や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の構築、世界的な物価高騰等による経済の下振れリスクへの対応等、「時代の転換点」ともいえる構造的な課題に直面しています。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けたGX、経済安全保障の強化、新たな国土形成計画に基づく「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現にも取り組む必要があります。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や気候変動に伴い強度と頻度が増加する風水害、加速化するインフラ施設の老朽化など、我が国同様に様々な課題を抱えています。

このような状況に加え、自動車産業の100年に一度の大変革期の最中にあり一層厳しさを増す中で、ものづくり産業の中核としてこれまで以上に日本経済を牽引し将来にわたり持続可能な経済成長を実現させるためには、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化を図る道路ネットワークの構築、インフラメンテナンス及びDXの推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を令和5年度補正予算を含めて例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、対策期間完了後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、切れ目無く、継続的・安定的に取り組むこと**
- 2 持続的な経済成長や個性をいかした地域づくりに資する道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
とりわけ、国道155号豊田南バイパスについては、開通見通しを早期公表すること
- 3 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう新たな財源を創設するとともに、令和6年度道路関係予算総額の満額確保を図ること**
また、国土強靱化のみならず、我が国の成長力及び国際競争力の強化、さらには生産性向上の観点からも、公共事業を含む令和5年度補正予算を速やかに編成すること



「100年に一度の大変革期」を迎える自動車産業を支え国土基盤の高質化に資する道路整備

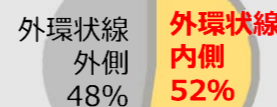
国道155号豊田南バイパス 国道153号豊田北バイパス ～広域的なネットワークを形成する外環状線～
平時・災害時を問わず、経済成長を支える人やモノの移動を安全で円滑に行い、生産性の向上や国際競争力の強化など社会の持続可能性を高めるストック効果を最大化する環状道路の早期整備が必要です。

交通課題

主要な幹線道路が通過する
中心市街地で多数の渋滞が発生し、
市民生活や企業活動を阻害



外環状線内側で市内の
渋滞損失時間の約半数が発生



豊田市内の総損失時間
5,462万人時間/年

(民間プローブデータより豊田市が算出)

豊田市を取り巻く主な社会環境と課題

- 超高齢社会の進展や生産年齢人口の減少
- 産業構造の大転換(CASEやMaaS,国際競争力の激化等)
- カーボンニュートラルの実現
- 大規模自然災害・気候変動
- 持続可能な開発目標 (SDGs)

自動車産業の一大集積地における物流の速達性や定時性を向上

効率的な物流
ネットワークの強化

- 物流の効率化による生産性の向上や国際競争力の強化
- カーボンニュートラルへの適応や「物流2024年問題」への対応を物流の円滑化によりサポート

豊田南バイパス利用時の移動時間の変化



世界につながる自動車製造ネットワーク



民間投資・需要を喚起

- 開通への期待から地域開発が進展

土地区画整理事業



浄水・四郷・平戸橋
5,540戸 185ha

令和3年9月
全区画契約済(5社)
令和4年度～
順次操業開始
(R5.8時点1社)

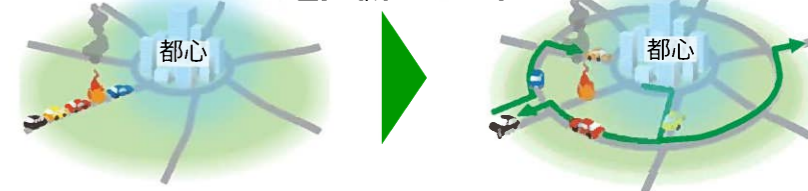


災害から人と暮らしを守る道路の形成

国土強靱化

- 幹線道路ネットワークの環状機能強化により災害時においても市民生活や企業活動を維持

迂回機能の確保



豊田厚生病院(第3次救急医療施設) 15分圏域の変化

【現状】	面積	【整備後】	【現状】	人口	【整備後】
約40km ²	約1.5倍	約59km ²	約11.1万人	約5.1万人増加	約16.2万人

豊田南バイパス

全線工事中
早期にストック効果を発現



豊田南バイパスの開通見通しの早期公表を強く要望

153 広域な人流・物流を支え強靱で信頼性の高い道路ネットワーク整備

国道153号 伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

広域な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送を支えるため、狭隘トンネルの早期解消が必要です。

- 狭隘トンネルと雨量規制がエネルギーの安定した供給を阻害
- 急勾配箇所や急カーブ等がスムーズな走行を阻害

伊勢神トンネル

唯一の高さ制限 (H=3.5m)

中部地方整備局管内の直轄国道で唯一存在！ (昭和33年制定道路構造令に準拠)

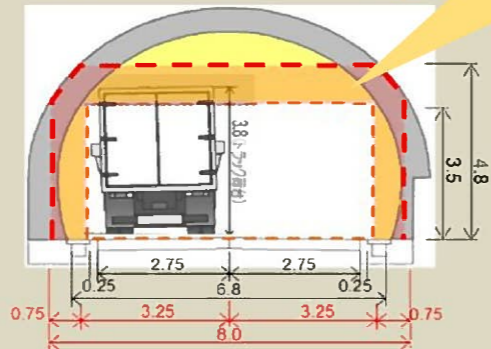
昭和35年7月完成

(昭和33年制定道路構造令に準拠)

断面不足！



大型車は中央線をはみ出して走行



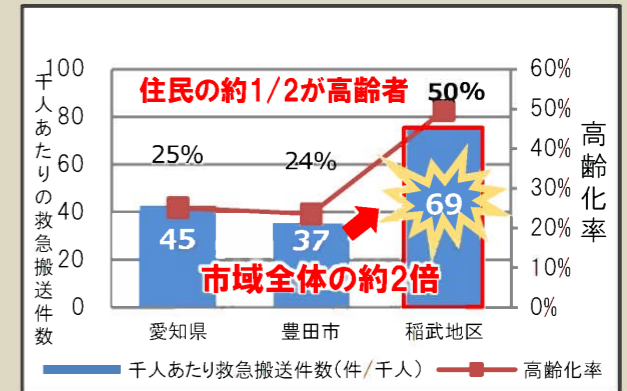
唯一の異常気象時通行規制区間

愛知県内の直轄国道で唯一存在！
(連続雨量150mm)



令和5年6月の豪雨では約10時間に及び通行止めが発生

稲武地区の高齢化率と救急搬送件数



愛知県消防年報、豊田市救急統計、速報とうけいとよにより豊田市作成

● 人やモノの安全で確実な移動を実現する「命の道」 ● 新時代に地域力をつなぐ地方創生の最重要路線

- 広域な危険物輸送の唯一のルートとして安定したエネルギー供給により生産性を向上
- 『地域住民の命をまもる』第2次救急医療施設や『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上
- リニア開通後は稲武から足助、西三河をつなぐ最重要路線
- 重点「道の駅」～どんぐりの里いなぶ～を拠点とした地方創生

危険物積載車両
116台/日 (平日)
(平成22年2月名古屋国道事務所調査)

危険物積載車両通行禁止

高さ制限

異常気象時通行規制区間

豊田市の北の玄関口
重点「道の駅」どんぐりの里いなぶ

工事現場見学会を開催 (R5年8月5日)

進捗状況 (R5.7.31現在)
掘削: 1056.7m/1,900m
覆工: 565.3m/1,900m

伊世賀美隧道をラリー車が激走!

Rally Japan 2023

重点「道の駅」でパブリックビューイングを開催

ラリーを生かしたまちづくり(山村振興)

重点「道の駅」どんぐりの里いなぶ

稲武地区

伊勢神改良 L=2.4km

地域の声

〈平成27年度全国道路・街路交通情勢調査〉
交通量: 5,608台/日 (平日)
大型車混入率: 17.3%

国道153号
足助バイパス(3.6km)
平成22年10月30日全線供用開始

足助地区

豊田厚生病院〔第3次〕

至名古屋市

豊田市中心部

足助病院〔第2次〕

国道153号は、稲武地区の地域医療を担う足助病院への唯一の道です。天候による通行止めが解消されれば、いつでも安心して病院へ行ける、まさに**命の道**です。

国道153号が名古屋-飯田間の唯一のルート！
重要物流道路に指定！
リニア開業のインパクトで経済活動・観光交流を活性化！

伊勢神改良の早期開通を要望

国道301号 松平バイパス ~トヨタテクニカルセンター下山へのアクセス道路整備~

地域の特徴を生かした成長産業の更なる活性化を図り、国際競争力を高める新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

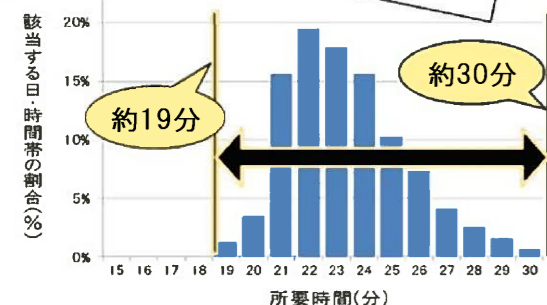
○下山地区に新たな研究開発施設として開設されたトヨタテクニカルセンター下山は、豊田市がものづくり中核都市として中長期の将来にわたる力強い成長を実現させる成長基盤です。

○施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、国道301号の整備 が必要です。

交通課題

野見山拡幅区間~研究開発施設の所要時間のバラツキが大きい

渋滞の遅れを余裕時間として見込むため
所要時間のバラツキは生産性低下に直結する



松平橋を先頭に混雑が発生(写真①)

泉町2丁目交差点から東を撮影



泉町2丁目交差点

急カーブ・急こう配など線形不良箇所が点在

人流・物流の円滑化や効率化による生産性の向上等、経済活動を支援

豊田市の製造品出荷額は全国6位の埼玉県を上回る

都道府県別製造品出荷額等の比較 (兆円)

都道府県	製造品出荷額 (兆円)
愛知	47.9
大阪	18.6
神奈川	17.4
静岡	17.3
兵庫	16.5
埼玉	14.3
茨城	13.7
千葉	13.1
三重	11.0
広島	9.9
豊田市	15.0
西三河	26.7

R3 上位10都道府県別

出典:総務省・経済産業省「2022年経済構造実態調査」

第2次緊急輸送道路の4車線化により緊急時の避難・救助機能を向上

ものづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積地
トヨタテクニカルセンター下山

令和6年3月より本格稼働予定

世界中の多種多様な「道」を再現したテストコースでLEXUSの走行試験

事業面積 650.8ha
 予定従業員数 3,850人
 通勤及び関係車両 3,700台/日
 (うち7割が国道301号を利用)
交通量が約1.3倍に!

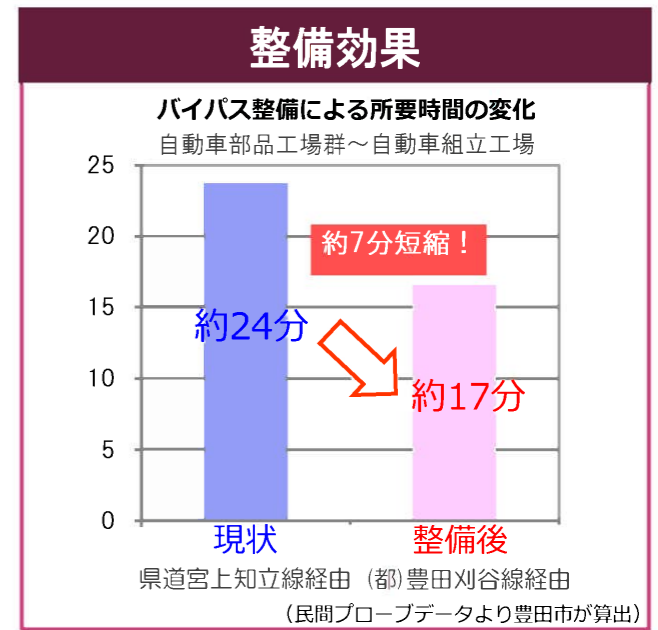
ものづくり産業の基盤を支え高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ~刈谷スマートICへのアクセス道路整備~

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、物流を円滑化し、生産性の向上に資する道路の整備が必要です。

○豊田市の南部地区は、自動車産業における主要な工場が集積しており、豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

○円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現するため、(都) 豊田刈谷線の整備が必要です。



工場間や刈谷SICへのアクセス性が向上し、国内外に向けたサプライチェーンを強靱化
通過交通や大型車交通の機能分担により、現道区間の混雑の緩和や安全性を向上



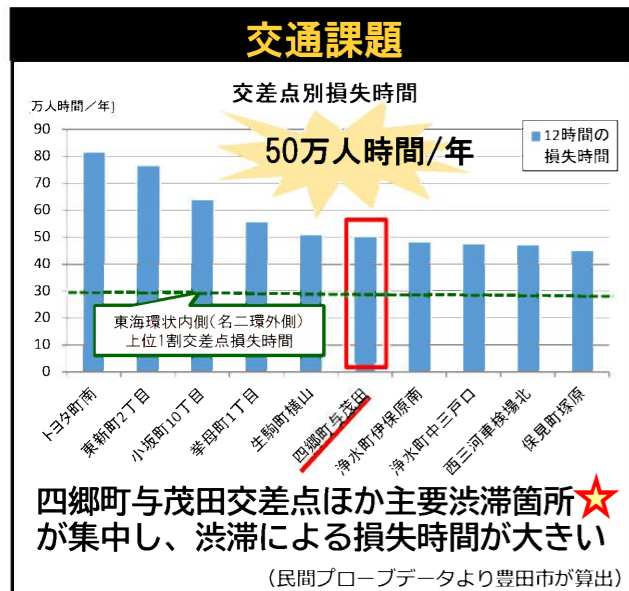
※ 乗用車輸出台数 出典：名古屋税関
※ 工場生産台数 出典：トヨタ自動車HP

国道419号 四郷拡幅 ~交通需要の増加に合わせた4車線化整備~

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、企業活動を支えるため、土地区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

○中心市街地から東海環状自動車道豊田藤岡ICへのアクセスである本事業区間は、交通量が多く、慢性的な渋滞が発生しています。

○沿線において、四郷駅周辺土地区画整理事業の完了に加え、産業集積地である花本産業団地の更なる拡張や民間商業施設のオープンなど開発が進んでいます。開発に伴う、より一層の交通需要の増加に対応するため、**国道419号の整備** が必要です。



通勤・帰宅時には **1km** を超える渋滞が発生

朝の渋滞時の様子 (国道419号) (写真①)



C3 豊田藤岡IC
西中山バイパス

道路整備への期待感から 土地利用が高度化

四郷町与茂田
約26.0ha
住居: 731戸
民間商業施設: 3店舗

四郷拡幅

花本産業団地
既存区域 約29.5ha 12区画
拡張区域 約5.3ha 6区画

豊田北バイパス

豊田南バイパス
E1 豊田IC

豊田北バイパス

C3 豊田勘八IC

★: 主要渋滞箇所

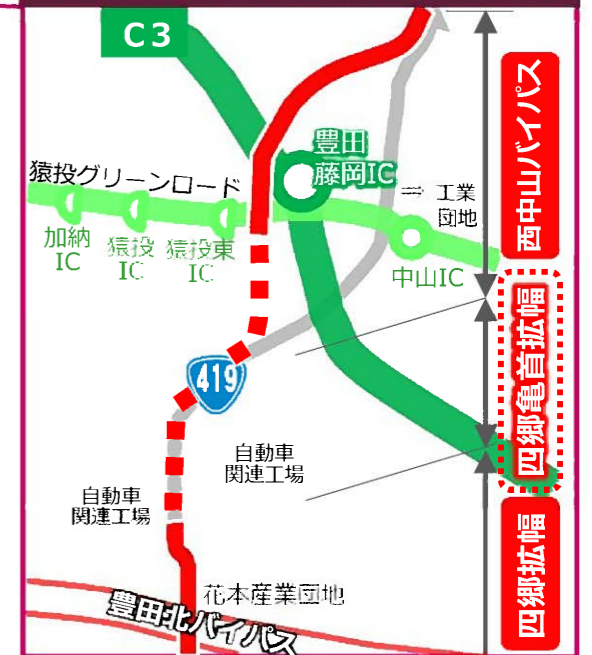
中心市街地

令和4年度完了

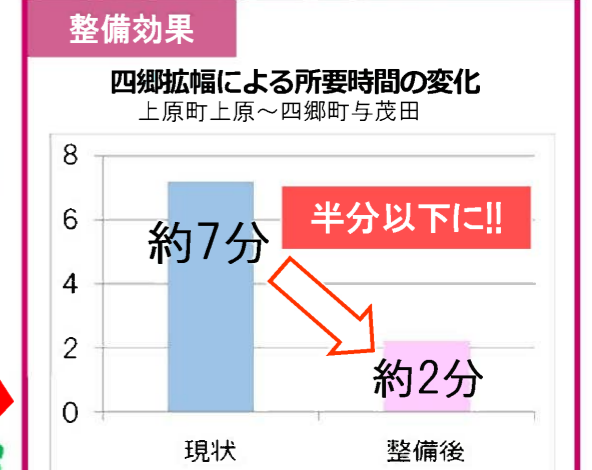
飲食店
家電量販店
ホームセンター
スーパー
薬局

令和3年9月 全区画契約済(5社)
令和4年度~ 順次操業開始 (R5.8時点1社)

ICへのアクセス性の向上が 更なる生産性の向上に寄与



交通の円滑化が 民間投資・需要を喚起



安全・安心な道路空間の構築

日本の未来を担う子供達の安全・安心を守るため、地域の実状に応じた通学路等の交通安全対策の強化・推進が必要です。

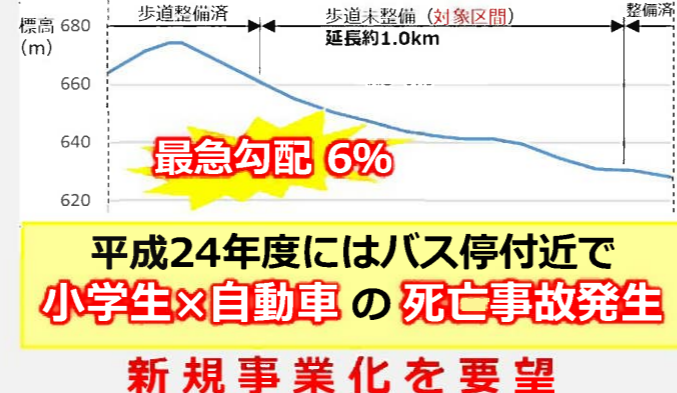
国道153号 交通安全対策 歩道整備事業（直轄事業）



小田木地区（事業中）



野入地区



名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性を向上

豊田市事業

通学路における合同点検の結果を踏まえた交通安全対策

令和5年度 完了予定 (暫定整備含む)

対策箇所数 116箇所

うち98箇所実施済



災害に屈しない強靱なまちづくり

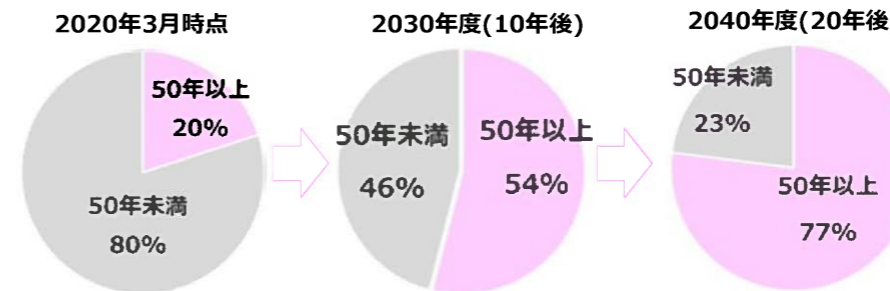
災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全・安心な社会の構築するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等の着実な推進に向けた予算の確保が必要です。

計画的なメンテナンスのための予算の確保

豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	: 約2,550km	愛知県下 第2位
橋りょう	: 約1,200橋	愛知県下 第3位
横断歩道橋	: 40橋	愛知県下 第1位

愛知県下トップクラスの道路施設管理数

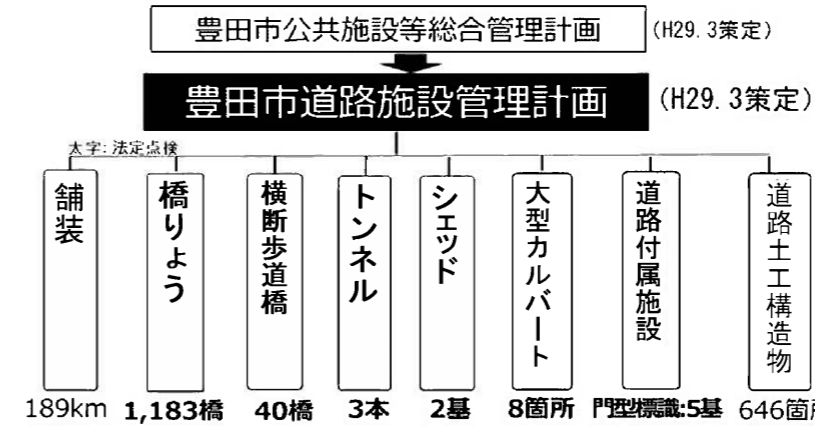


20年後には約80%の橋りょうが50年を経過

戦略的インフラマネジメントの推進

建設後50年を経過した橋りょう数の推移（2020年3月時点）

◆予防保全型メンテナンス



- 維持管理事業費の縮減・平準化
- 老朽化を起因とする重大事故ゼロ

1巡目の橋りょう定期点検結果 (H26~H30)

約120橋(約10%)が修繕対象に

長寿命化修繕計画に基づき修繕を実施

112橋(約94%)完了 (R4末時点)

デジタル化の推進（デジタル田園都市国家構想交付金）

舗装点検システム、インフラ管理データベースの導入を検討中（システムイメージ）



- 将来を見据えた持続可能で効率的な維持管理

補修状況等をデータベース化 (統合型GISにて一元管理)

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



持続的な経済成長の実現

- 物流ネットワークの機能強化**
- 国道153号 豊田北バイパス
 - 国道155号 豊田南バイパス
 - 国道301号 松平バイパス
 - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
 - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
 - ・(都)高橋細谷線
- 高規格幹線道路へのアクセスの強化**
- 国道419号(四郷拡幅)
 - ・国道301号 益富拡幅
 - ・(都)豊田則定線(寺部町～高橋町)
 - ・国道419号(西中山バイパス)
 - ・国道419号(四郷亀首拡幅)
- 日常生活移動の円滑化**
- ・国道419号 藤岡飯野交差点

個性をいかした地域づくり

- 市域の一体性・交流を支える道路の整備**
- ・国道420号 足助バイパス
 - ・国道473号(和合町)
 - ・主要地方道足助下山線(簗林町)
 - ・国道257号(中当町)
 - ・国道301号 根引林添バイパス
 - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
 - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須測町)
 - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

市民の安全・安心の確保

- 緊急輸送道路の信頼性の向上**
- 国道153号 伊勢神改良
 - ・国道153号、国道155号の防災対策
 - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
 - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
 - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
 - ・国道153号小田木、野入地区交通安全対策

凡例	
	重点要望事項 (国事業)
	重点要望事項 (愛知県事業)
	要望事項 ※○は最重点要望事項

令和5年10月17日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田稔彦

豊田市議会議長

木本文也

豊田商工会議所会頭

三宅英臣